

2016年6月30日



東美特別展

第二十回東美特別展 開催概要決定

2016年10月14日（金）～16（日）
東京美術倶楽部



三年に一度の日本で最も歴史の長いアートフェア。

絵画・近代美術・古美術・茶道具・工芸など、美術館クラスの名品に必ず出会えます。

東京美術商協同組合は、「第二十回東美特別展」を2016年10月14日（金）～16日（日）の3日間、東京美術倶楽部（東京都・港区）で開催します。絵画（日本画・洋画）、近代美術、古美術、茶道具、工芸など幅広くかつ専門的な65画廊・画商が集まり、世界に誇る日本独自の美術を出品します。

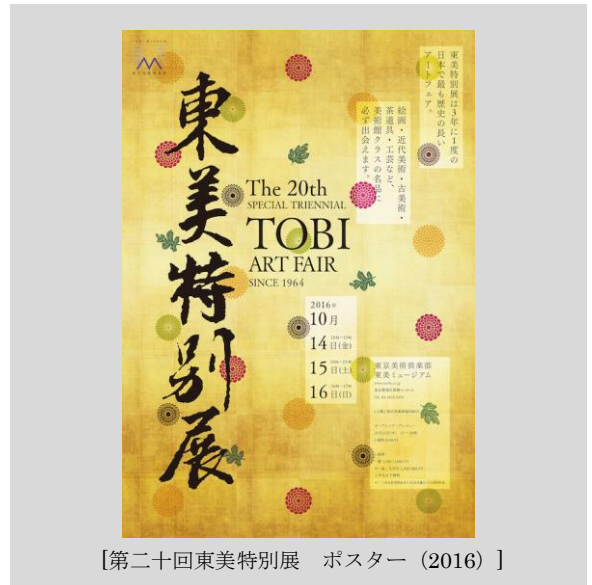
1964年、東京オリンピック開催を記念して第一回が開催された東美特別展が、記念すべき二十回目を迎えました。古美術、骨董から現存作家の作品まで、選りすぐりの名品を、間近で見て、手に取り、購入することができます。展示だけでなく、会期中は本格的な茶席等もご用意いたします。日本が誇る一流の美術品が集まる東美特別展を、是非貴媒体にてご告知賜りたくご案内申し上げます。

東美特別展とは？

絵画、近代美術、古美術の聖地

日本画、洋画、近代美術、古美術、茶道具、工芸・・・
多種多様な一級品が集まる三年に一度の見本市。

東美特別展とは、日本を代表する美術商がその専門とする分野で選び抜いた美術作品を一堂に集め、展示・販売する、三年に一度の見本市です。実際に触れて買うことができ、国内外のコレクターや愛好家に支持されています。また過去には美術館・博物館に所蔵された作品も多く、一流の名品が一堂に介する貴重な機会です。



【第二十回東美特別展 ポスター (2016)】

その歴史は 1964 年東京オリンピックまで遡る・・・



【オリンピック記念・古美術展観特別即売会の様子 (1964)】

1964 年、東京オリンピック開催を記念し
「オリンピック記念・古美術展観特別即売会」
として第一回目を開催。

当初はオリンピック開催に結び付けての行事でしたが、多大な好評を博したこと、また出展者からの強い要望があったことから、二年後の 1966 年に第二回が開催され、その際名称を変更し「東美特別展」となりました。1976 年までは隔年で開催されましたが、名品を取り揃えるにはそれなりの時間が必要、という理由から、1979 年より三年に一度の開催として現在に至ります。

「本物」と出会う場所

二十回目という大きな節目を迎える東美特別展

今回で二十回目という大きな節目を迎える東美特別展には、日本が誇る美術品を国内外に紹介することを主目的に、東京美術商協同組合のなかで特に選ばれた 65 店の美術商が出展します。

茶道具は畳敷きの和室に展示するなど、作品を最も引き立てる会場で、本物の名品に出会うことができるでしょう。



【第十九回東美特別展 会場の様子 (2013)】

“東美”とは、「東京美術倶楽部」及び「東京美術商協同組合」の総称です。

100年あまりの歴史を持つ美術業界最古のグループ

東京美術倶楽部

創業100有余年の歴史を持つ東京美術倶楽部は、日本美術業界で最古のグループです。美術に対する正しい認識と理解の普及を図ることを目的として、日本の優れた美術品の保存、活用を行う施設を有します。

1フロア約200坪の広いホール・和室・日本庭園があり、美術展、茶会、美術品鑑定・評価・売却・著作権管理等の美術に関する様々な事業を展開しています。



【第十九回東美特別展 茶席の様子（2013）】

およそ500店舗が加盟

東京美術商協同組合

東京美術商協同組合は、およそ500店舗が加盟している美術商組合です。その歴史は1924年、前身となる東京美術商親交組合の設立から始まり、厳しい入会規程を満たした有力組合員で構成されており、国内はもとより、海外からも高く評価されております。



【第十九回東美特別展 会場の様子（2013）】

会場アクセス



〒105-0004
東京都港区新橋6-19-15
東京美術倶楽部

三田線「御成門駅」A4出口より徒歩2分
浅草線・大江戸線「大門駅」A4出口より徒歩5分
JR「新橋駅」鳥森口より徒歩10分
銀座線・浅草線「新橋駅」より徒歩10分
JR「浜松町駅」北口より徒歩10分

開催概要

名称（和）	第二十回 東美特別展
名称（英）	Special Triennial Tobi Art Fair 2016
日 程	平成 28 年 10 月 14 日(金) 10:00 ~ 19:00 15 日(土) 10:00 ~ 19:00 16 日(日) 10:00 ~ 17:00
会 場	東京美術倶楽部 東美ミュージアム
主 催	東京美術商協同組合
企画協力	一般社団法人 アート東京
入 場 料	一般 1,500 円 (1,000 円) / 中・高・大学生 1,300 円 (800 円) *いずれも消費税込。 * () 内は前売料金または 20 名様以上の団体料金。前売チケットは、チケットぴあにて 9 月発売開始予定です。 *小学生以下、障害者手帳をご持参の方（付添の方 1 名を含む）は無料。 *割引・無料には入館の際、学生証・運転免許証など年齢のわかるもの、障害者手帳をご提示ください。 *チケットは入場当日に限り有効です。
出 展 者	東京美術商協同組合員 65 店
出 品 物	絵画(日本画・洋画)、陶磁器、茶道具、屏風、蒔絵、彫刻、仏教美術、刀剣、 その他美術工芸品
東美特別展に 関する お問い合わせ	株式会社東京美術倶楽部 東京美術商協同組合（浦島） 〒105-0004 東京都港区新橋 6-19-15 TEL: +81-(0)3-3432-0191 / FAX: +81-(0)3-3431-7606 E-MAIL: press@toobi.co.jp 東京美術倶楽部 HP: http://www.toobi.co.jp

広報資料とお願い

- ・ 本リリース内の広報用画像は全てご使用頂けますが、東美特別展広報のみにご使用ください。他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- ・ 情報確認の為、可能であれば、校正原稿を下記広報担当までお送りください。また掲載見本をご寄贈ください。Web サイトの場合は掲載時に URL をお知らせください。

本リリース・広報に関するお問い合わせ

一般社団法人 アート東京 （墨屋／三木）
〒106-0041 東京都港区麻布台 1-9-12 飯倉台ビル 4 階
TEL: +81-(0)3-5797-7912 / FAX: +81-(0)3-5797-7913
E-MAIL: press@artfairtokyo.com









資料 1 : 出展者一覧

赤坂水戸幸	懐古堂	篠田商店	田島美術店	古美術 木瓜
味岡松華園	加島美術	思文閣銀座	谷庄	松森
阿曾美術	祇園画廊	至峰堂画廊	ギャラリー竹柳堂	繭山龍泉堂
飯田好日堂	吉平美術店	古美術 下條	中村好古堂	丸栄堂
池内美術	玉鳳堂	壽泉堂	那須屋	万葉洞
石黒ギャラリー	銀座 黒田陶苑	春風洞画廊	西浦渌水堂(※)	水戸幸商会
一元堂	しぶや黒田陶苑	古美術 祥雲	日本刀剣	水戸忠
薨堂	薫隆堂	新生堂	古美術 白水	水戸忠交易
京都 宇野商店	五月堂	神通静玩堂	はせべや	古美術藪本
浦上蒼穹堂	壺中居	杉江美術店	古美術 はりま	
永善堂画廊	小西大閑堂	靖雅堂夏目美術店	ギャラリー広田美術	
岡崎画廊	米近	清昌堂やました	フジキ画廊	
東京 岡田集雅堂	彩鳳堂画廊	瀬津雅陶堂	平山堂	
小川商店	三溪洞	蘇鐵庵水守	宝満堂	

(※) 西浦渌水堂の「渌」は外字を使用。

資料 2 : 広報用画像

ここに掲載されている画像は第二十回東美特別展の出品予定作品の参考作品画像の一部です。
 広報用画像の掲載にはキャプションの明記が必要です。図版のトリミング・加工等をご遠慮ください。

			
外装(塗師) 桃寿 刀身 大和 大榎藤原正則 「銀沃懸地塗玉装小刀」	奥田小由女 「招幸鳥」	「古越磁(越州窯青磁) 羊」	「唐三彩宝相華文三足盤」
			
「薩摩切子紫色被せガラス大杯」	鳥海青児 「インカの石街」	香月泰男 「風船賣」	伝圓光大師(法然上人・源空) 「粟生野切」

東京美術倶楽部 今後のイベントについて

正礼会

正礼会は、昭和27年より続く、伝統の美術・骨董の展示即売会です。全国の美術商が出品する、日本画・洋画・古書画・茶道具・諸美術品を、1点2万円より購入いただけるチャンスです。好評のチャリティ入札もご紹介します。

日 程：平成28年 7月 2日（土） 10:00～18:00
3日（日） 10:00～17:00

会 場：東京美術倶楽部

入場料：無料



公開美術講座



日本美術の名宝をより身近に、より深く鑑賞するための本格派美術講座を開講いたします。本講座は東京美術倶楽部の年間事業として一般の美術愛好家・研究者・美術商等を対象にしたもので、百年以上にわたり美術品取引に従事してきた東京美術倶楽部の独自のネットワークを活かし、普段は非公開のコレクターからお借りした美術品や、時には美術館から貴重な作品をお借りし、その日一日限りの展示を実際にご覧いただけます。

今後の講座スケジュール

7月16日（土）「漆の話 ① 縄文から現代まで」池田巖（漆芸作家）

9月17日（土）「漆の話 ② 茶の湯と漆」池田巖（漆芸作家）

10月8日（土） **特別講座**「芸術と科学のあいだ」福岡伸一（生物学者・青山学院大学教授）

11月12日（土）「① 円山応挙の人物表現」樋口一貴（十文字学園女子大学准教授）

12月10日（土）「② 円山応挙の写生と動物画」樋口一貴（十文字学園女子大学准教授）

※ 本講座の詳細内容、お申込みは東京美術倶楽部 HP (<http://www.toobi.co.jp>) または03-3432-0191までお問い合わせ下さい。